



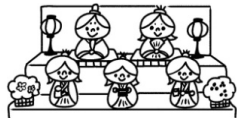
うさぎ組だより

2018年度3月 社会福祉法人尚徳福祉会 生麦保育園

暖かい日も増え春の訪れを感じます。うさぎ組での生活も残りわずかとなりました。「かっこいいきりん組さんになる」と、おはしを持って食べるのを頑張ったり、率先してお手伝いをおこなってくれたりしています。進級を楽しみにしている姿を大切にしながら、子どもたちと日々楽しく過ごしていきたいと思います。

ひな祭り

ひなまつり製作をしました。紙皿を半分に折り、肌色の丸い画用紙に描いた顔や、好きな柄の千代紙を選び着物の形に折って貼りました。それぞれ、お雛様、お内裏様の表情や髪の毛の色など変えて作るのを楽しみ、完成すると「かわいい」ととても嬉しそうでした。持ち物も名称を伝えると「おうぎ」



「しゃく」などと声に出していました。

懇談会

お忙しい中、懇談会にご参加頂きありがとうございました。保護者の皆様と子どもたちの成長を喜び合うことができ、またご家庭での様子を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

お散歩大好き

お天気の良い日はたくさんお散歩に出かけています。へび公園では、他の保育園のお友だちも沢山いますので「あ！同じ黄色帽子のお友だちがいる。僕たち、私たちは、白帽子に変えるね」と帽子をひっくり返してから遊び始めています。生麦公園のブランコでは、10秒数えて「おまけのおまけの汽車ポッポー。ポーとなったら代わりましょ」で交代することができています。公園で沢山遊ぶことで滑り台を下りた時、膝の屈伸をしっかりと使い着地することができたり、散歩道では、足を上げて力強く歩いたり体の使い方もとても上手になりました。

1年間を振り返って

この一年間、子どもたちの笑顔に毎日たくさん元気をもらいました。4月当初は、新しい環境に不安や緊張が見られ「先生と遊ぶ」と言って保育者に依存する姿が多かったのですが、今では子どもたち同士で声を掛け合って楽しそうに遊ぶ姿が沢山見られるようになりました。また、遊びの中でトラブルが起きると泣いて保育者の所まで来て、しばらく立ち直ることができなかった姿が今では、子どもたち同士で話をしたり、他のお友だちが気づいて間に入って話を聞いたり、解決へ導こうとしています。その成長した姿を日々嬉しく思います。

この1年で沢山のことが出きるようになりました。これからも様々な経験を通し、自信へと繋げて欲しいと思います。保護者の皆様には、沢山ご理解、ご協力頂きましてありがとうございました。残りわずかな日々を、みんなで楽しく過ごし、いつもと変わらない元気いっぱい笑顔の姿で進級を迎えられたらと思います。

1年間ありがとうございました。